

北海道秋の学び推進月間の取組

留萌教育局
平成28年12月8日

北海道教育委員会では、毎年4月と11月を「北海道学び推進月間」と定め、学力向上のための各種事業に重点的に取り組むとともに、家庭学習や読書などを奨励する広報啓発活動を通して、家庭や地域における学びの取組を一層推進することにより、「確かな学力」の向上を目指しています。

「北海道教育の日」(11月1日)から始まった「北海道秋の学び推進月間」では、学校や家庭、地域において様々な取組が行われました。特色ある取組を紹介しますので、今後の取組の充実を図るため参考として御活用いただければと思います。

○ 初山別村立初山別小学校・初山別中学校の取組

小中連携による確かな学力の育成をテーマとした研究大会の開催

両校では、平成26年度から3年間、道教委の「小中連携、一貫教育推進事業」の指定校として、義務教育9年間で目指す子ども像を明確にし、学びの連続性を意識した取組を進めてきました。

特に、9年間の指導計画の作成と系統性を意識した学習指導を重点的に取り組んでおり、11月22日に開催された研究大会では、管内外の教育関係者96名の参加により、小・中学校間の円滑な接続や連携を目指した算数・数学科の公開授業や研究発表をとおして、その成果を発信しました。

また、記念講演として、京都産業大学の西川信廣教授に目指す子ども像の共有や教育課程の柔軟な編成など、小中一貫教育の意義や取組の在り方などについてお話しいただきました。



【公開授業の様子】

○ 北海道天塩高等学校の取組

全校生徒が一同に会して取り組む一斉学習会の開催

本校では、センター試験など大会場で実施する入試の雰囲気を経験し、その中で集中力をもって学習に取り組めるようにすることをねらいとして、全校生徒が体育館に集まり、生徒一人一人が自分で準備した学習課題に一斉に取り組む「天高一斉学習会」を年3回実施しています。

11月30日に行われた第3回の一斉学習会では、課題学習と定期考査を1時間ずつ交互に実施し、生徒は緊張感をもって真剣に取り組んでいました。これらの取組をとおして、生徒からは「集中力が身に付いた」などの声が上がっています。



【一斉学習会の様子】

「北海道学び推進月間」標語

- ☆最優秀作品(最優秀賞)☆ 羽幌町立焼尻中学校2年 前田美奈実さん
「学びから 未来の花を 咲かせよう」
- ☆☆優秀作品(奨励賞)☆☆ 留萌市立留萌小学校6年 福山優奈さん
「その努力 一つも無駄には ならないよ」
- ☆☆優秀作品(奨励賞)☆☆ 留萌市立港南中学校1年 檜森文人さん
「朝読書 授業前の ストレッチ」
- ☆☆優秀作品(奨励賞)☆☆ 北海道羽幌高等学校3年 戸村恭平さん
「君の辞書 努力という文字 刻もうよ」

今年度もたくさんの作品を応募いただきありがとうございました。